

英語のルール

1. はじめに主語と動詞

- 主語 : 文の主役になる人・物。たとえば I You This など。
- 一般動詞 : 心や体の動きを表す。たとえば play have like など。
- be動詞 : 存在や状態を表す。たとえば is am are など。

2. 否定文のルール

- be動詞 → 主語 + be動詞 + not + (いろいろ説明)
- 一般動詞 → 主語 + don't (do not) + 動詞 + (いろいろ説明)
- Can → 主語 + can + not + 動詞の原形 + (いろいろ説明)

3. 疑問文のルール

- be動詞 → Are you ~ ? Is he ~ ? など。Do は使わない!
- 一般動詞 → Do you 動詞 ~ ? Does he 動詞 ~ ? など。
- Can → Can you 動詞の原形 ~ ? 日本語訳 : ~ できますか?

4. その他のルール

- 三単現 : 主語が三人称 (I と You 以外) の単数で、現在形するとき。
→ 動詞に s (es) をつける。do の代わりに does を使う。
- 疑問詞 : Yes や No で答えられない質問をするとき。
→ 疑問詞のあとにふつうの疑問文の形。 What do you ~ ? など。
- 過去形 : 過去を表す表現 (yesterday、last、ago、then など) があるとき。
→ 動詞を過去形にする。do の代わりに did を使う。
- 現在進行形 : 今している動作を表す。「今 (now)」「~している」などがあるとき。
→ 主語 + be動詞 + 動詞のing形
- 過去進行形 : 過去に進行中だった動作を表す。 be動詞 が過去形になる。
- 助動詞 : 動詞に意味をつけ足す。 can will must など。動詞は 原形 に。
- その他 : 「しなければいけない」 → have to + 動詞 (否定 → don't have to)
「するつもりだ」 → be going to + 動詞 (予定がある状態を表す)

英語のルール

1. 主語と動詞

- ・ 主語 : 文の主役になる人・物。たとえば _____ など。
- ・ 一般動詞 : 心や体の**動き**を表す。たとえば _____ など。
- ・ b e 動詞 : **存在や状態**を表す。たとえば _____ など。

2. 否定文

- ・ b e 動詞 → 主語 + b e 動詞 + _____ + (いろいろ説明)
- ・ 一般動詞 → 主語 + _____ () + 動詞 + (いろいろ説明)
- ・ Can → 主語 + can + _____ + 動詞の _____ + (いろいろ説明)

3. 疑問文

- ・ b e 動詞 → _____ ~ ? _____ ~ ? など。 _____ は使わない!
- ・ 一般動詞 → _____ 動詞 ~ ? _____ 動詞 ~ ? など。
- ・ Can → _____ ~ ? 日本語訳 : ~ _____ ?

4. その他のルール

- ・ 三単現 : 主語が**三人称** (_____ と _____ 以外) の**単数**で、**現在形**のとき。
→ 動詞に _____ () をつける。do の代わりに _____ を使う。
- ・ 疑問詞 : **Yes や No で答えられない質問**をするとき。
→ 疑問詞のあとにふつうの疑問文の形。 _____ ~ ? など。
- ・ 過去形 : 過去を表す表現 (**yesterday**、**last**、**ago**、**then** など) があるとき。
→ 動詞を**過去形**にする。do の代わりに _____ を使う。
- ・ 現在進行形 : 今している動作を表す。「今 (now)」「~している」などがあるとき。
→ 主語 + _____ + 動詞の _____ 形
- ・ 過去進行形 : 過去にやっていた動作を表す。 _____ が過去形になる。
- ・ 助動詞 : 動詞に意味をつけ足す。 _____ など。動詞は _____ に。
- ・ その他 : 「しなければいけない」 → _____ + 動詞 (否定 → don't _____)
「するつもりだ」 → _____ + 動詞 (予定がある状態を表す)

英語のルール2

1. 動詞の変形

- ・ **三単現** : s をつける。最後が s、o、sh、ch なら es をつける (have は例外)
例外 : 「~y」は「~ies」に変える (y の前が子音の場合)
- ・ **過去形** : ed をつける。最後が e なら d をつける。
例外 : 「~y」は「~ied」に変える (y の前が子音の場合)
- ・ **進行形** : ing をつける。最後が e なら e を取って ing をつける。
例外 : 最後が ie (die、lie)、短母音 + 子音 (run、swim、begin)

2. 細かいルール

- ・ 人称代名詞 (1年生 10月~11月)
- ・ 不定詞 to (2年生 6月)
- ・ 動名詞 (2年生 11月)
- ・ 接続詞 when、if、that、when、because (2年生 10月)
- ・ 比較表現 (2年生 1~2月)

3. 慣用表現

- ・ May I ~、Could I ~ (2年生 5月)
- ・ There is ~ (2年生 11月)
- ・ Shall I ~ (2年生 2月)

4. 中3で習う範囲

- ・ 受け身、動詞の過去分詞 (3年生 4月)
- ・ 現在完了形 (3年生 5~6月)
- ・ 現在分詞・過去分詞の後置修飾 (3年生 10月)
- ・ 関係代名詞 who、that、which (3年生 11月)
- ・ Would you like ~ (3年生 5月前半)
- ・ Would you like to ~ (3年生 6月後半)
- ・ 不定詞 to を使った構文いろいろ (3年生 9月、10月後半)

英単語のルール（フォニックス）

読み方・書き方にはルールがある

日本語にも、意識しただけでルールがある。

例) 「なにぬねの」の「な」は、子音の「ヌ」と母音の「ア」の組み合わせ

例) 伸ばす音 … お母さん、お父さん、王さま、道路。「大きい」は例外！

その他 … 小さい「っ」は「つ」とは読まない

「きゃ」「きゅ」「きょ」は、2文字で1音 など

→ ルールを知っていると、初めて見る言葉でも読める！

ルール1 アルファベットには「名前」とは別に「読み方」がある。

母音 … a「ア」 e「エ」 i「イ」 o「オ」 u「ウ」 の5つ

子音 … p「プ」 b「ブ」 t「ト」 d「ド」 c「ク」 g「グ」 など

例) b a g 「ブ」「ア」「グ」→「バッグ」 c u t 「ク」「ア」「ト」→「カット」

ルール2 最後にeだと読み方が変わる（母音を名前で読む）

例) win「イ」→wine「アイ」 mat「ア」→mate「エイ」

ルール3 子音が2つで、別の読み方をすることがある

例) shop、fish「シュ」 chime、bench「チュ」

ルール4 母音が2つ続くと、前の母音を名前で読む（後の母音は読まない）

例) eat（食べる）、three（3）、boat（ボート）、fruit（果物）

その他のルール

母音が2つで別の読み方、読まないk・gh、最後のy など